

ひびき通信

平成 25 年
2 月版

新年会で自己紹介をするスタッフの面々



姉や子供夫婦、孫やひ孫たち

総勢二十人の家族が参加

グループホーム響の家族会&第二回新年会がこのほど、当センターで開催されました。この会は、ご利用者様の日頃の様子や今後のケアの方針などを確認すると同時に、普段、ご家族とはあまり顔を合わせることのできない職員たちとの親睦を図るのを目的に、昨年から開催しています。

男性入居者の音頭で「カンパイヤ」



和やかな雰囲気で行われた新年会

入居者囲みスタッフと笑顔で交流を深める

新年会に先立って行われた家族会では、平田主任より管理者の変更や、昨年、施設で亡くなった男

2月24日開催
入浴セミナー

二つの基礎講座で生活ケア力のアップを

在宅サポートセンター生田主催の「こだわりの入浴セミナー」が二月二十四日に、また「ボケと認知症ケアの基礎

と応用講座」が三月十七日に当センターで開催されます。二つのセミナーとも、生活ケアを実践するうえで欠かす

3月17日開催
認知症セミナー

ことのできない入浴介助と認知症ケアの基礎を学ぶものです。入浴セミナーでは、実際に



デイサービス響で今年初の趣味活動

軍手が素材とは思えない出来栄え

デイサービス響では、今年初めての趣味活動としてかわいいへビの干支飾りづくりに挑戦しています。素材はなんとカラー軍手。黄色いリボンとカラフルなアププリケをあしらった干支飾りの素材が、軍手にはとても見えない出来栄えです。見本を手にとったご利用者様は、今から趣味活動を楽しみにしています。

性利用者の看取りケアの様子など、入居されている方々のこれまでのケアの状況が報告されました。このあと行われた新年会には、入居されている方々の兄弟姉妹や子供夫婦、孫やひ孫たち総勢二十名が参加。唯一の男性入居者の「日頃、お世話になっております。それではカンパイヤ」という挨拶を

皮切りに、握り寿司やサンドイッチ、鳥の唐揚げやエビの姿焼きなどのご馳走をいただきました。スタッフたちは、男性入居者の乾杯の挨拶に思わず感激。家族の方々と日頃の様子や若かったころの話に花を咲かせるなど、和やかな雰囲気の中、交流を深めることができました。

カラフルなへビの干支飾りにチャレンジ

お風呂に入りながら、介助する側される側を体験。片麻痺の方や車椅子を利用されている方の入浴介助の理論や基礎技術を学びます。認知症ケア

の基礎と応用講座では、問題行動を薬で封じる前に、実際のケースを通して、お年寄りを理解し安心できる生活ケアのポイントを学びます。